



都心のオアシス緑の憩いの場

# 日比谷公園散策



**旧日比谷公園事務所**

日比谷公園の管理事務所として、明治43年(1910)11月に竣工しました。昭和51年(1976)に公園資料館として内部を改造しましたが、構造、外観の変更は旧態を留め、棹縁天井やベイウインドーの腰掛け、階段などに当初の名残があります。



**心字池**

開園前の濠を偲び造られ、全体を上から見ると「心」の字をくずした形をしています。禅宗の影響を受けた鎌倉、室町時代の庭に見られる日本庭園の伝統的な手法のひとつです。池の中央にはカメの形をした小さな『カメの噴水』があります。



**三笠山**

公園造成時に、池などを掘った残土で作られた人工の山で、その当時は全体が三つの笠をふせた形に似ていたためこの名が付いたと言われています。



**日比谷見附跡**

江戸城外郭城門の一つ、日比谷御門の石垣の一部だけが、ここに残っています。城の外側から順に、高麗門(こまもん)・枳形(ますがた)・渡櫓(わたりやぐら)・番所が石垣でかまわれていました

- 環境省
- 厚生労働省



**市政会館**

当時の東京市長、後藤新平は、安田財閥・安田善次郎の寄付を受け、公園内に公会堂を付置した本格的なホールを備えた会館を昭和4年(1929)に竣工しました。これが、現在の市政会館と日比谷公会堂です。



**雲形池**

都市公園等の噴水としては、わが国で三番目に古いとされる鶴の噴水のある池。



**日比谷野外音楽堂(小音楽堂)**

明治38年(1905)に完成したわが国初の野外音楽堂。大正12年(1923)9月の関東大震災で倒壊しましたが後日再築されました。最大の特徴は、無料催事のための貸し出しです。